

駒場松桜会会報

第60号

1997年3月1日発行
財団法人駒場松桜会
〒153 東京都目黒区
大塚2-18-1
都立駒場高校仰光寮
電話03-3466-7579
振替番号
00190-8-28486

母校創立百周年に向けて

ご意見、ご協力をお願いします

来る平成14年(二〇〇二年)、母校駒場高校は創立百周年を迎えます。

駒場松桜会もこれに賛同し、5年後をめざして、本年1月に「百周年記念事業準備委員会」を発足させました。

現在、他の都立高校の記念事業の事例などを参考に、記念誌発行や母校への寄贈品については、学校側と話し合いを進めております。

松桜会は創立五十周年の際、記念事業として、基金をつくり、松桜会独力で仰光寮を麻布の丘から駒場の丘へ移築させました。

百周年にも駒場松桜会にふさ

わしい記念行事や事業を検討中

であります。委員の皆様のご意見を広くうかがい、すばらしい企画を策定したいと考えております。記念行事や事業には多くの資金が必要となりますので、音楽会、バザー等で資金を集めるとともに委員の皆様のご協力が最も必要となります。

財政援助(寄付、広宣等)以外にも皆様から、どのような形でもご協力いただけるか、例えば、企画、出品、出演、場所提供、人材紹介等々について、情報をお寄せ下さいませようお願いいたします。同封のハガキをご利用いただければ幸いです。

'97年度講演会三人の講師を迎えて 講師のプロフィール

演劇・舞踊評論家

西形節子(昭和17年入学、三年の時疎開。第三43回と同期)

早稲田大学文学部演劇科、大学院文学研究科修士課程修了。共立女子大、お茶ノ水女子大講師を経て、舞踊演劇の評論、研究活動。舞踊学会理事。短大の講師。日本演劇学会、芸能学会会員。芸術選奨・芸術祭審査委員など。歌舞伎イヤホンガイド解説委員で毎月、歌舞伎座、国立劇場などで歌舞伎の解説を担当。著書「日本舞踊の研究」(南窓社)「原色歌舞伎詳細」(共著)その他。日本舞踊教授として藤間すみれの名を持つ。

歌舞伎絵作家

鳥居清光(駒8-7)

鳥居派八代目宗家鳥居清忠氏の長女。昭和37年芸大日本画科卒業後、日生劇場舞台課に籍を置く。昭和45年、父清忠氏の助手として鳥居派の修業を始める。清忠氏逝去後、昭和54年、歌舞伎座四月興行より絵着板の製作担当を始める。そして、歌舞伎座、国立劇場の舞台美術もてがける。昭和57年鳥居派九代目鳥居清光を襲名。エイボン芸術賞、長谷川伸賞など受賞。

歌舞伎研究者

金森和子(駒18-6)

清泉女子大学文学部卒業。大学時代に歌舞伎研究会に所属したのが縁で、松竹演劇部発行「季刊歌舞伎」編集部に入る。昭和51年からはフリーランサーとなり、歌舞伎を中心にその普及のために執筆、編集、翻刻などに従事。歌舞伎座をはじめ関西、中京地区での歌舞伎公演プログラムにあらずじを、約20年間執筆し続ける。現在併行して「歌舞伎座百年史」歌舞伎を支える技術者名鑑(改訂版)を編集。日本演劇協会、日本演劇学会、芸能史研究会会員。

★著書

- ・平凡社刊「歌舞伎図鑑」(監修、共著)
- ・朝日新聞社刊「歌舞伎ファッション」
- ・NHK「日本の伝統芸能」テキスト(共著 平成2、7、8、9年)
- ・淡交ムック「歌舞伎入門」(共著)その他

★編集したものの

- ・早稲田大学の「演劇博物館五十年」と図録
- ・日本放送出版協会刊「十七代市村羽左衛門開書」
- ・平凡社刊「歌舞伎事典」
- ・大和山出版刊「猿之助修羅舞台」(平成6年P.H.P.文庫から再刊)その他

'97年度 総会・講演会 お知らせ

日時及び会場
5月17日(土)
総会(13時) 於：都立駒場高校
講演会(13時30分) 視聴覚教室
講師の方々を囲む会(15時30分) 第一会議室

講演「歌舞伎あれこれ」

西形節子氏
鳥居清光氏

金森和子氏

歌舞伎絵作家
鳥居清光氏

歌舞伎研究者
金森和子氏

○同窓生以外の方も、お誘い合せの上お気軽に御参加下さい。

○準備の都合上、同封の葉書にて御出席をお知らせ下さい。4月末日までにお願いたします。

○御出席にもかかわらず、百周年記念事業に関する御意見も、同封の葉書にてお寄せ下さい。

松桜会コンサート 眞理ヨシコ

麗しき歌声に魅せられ

昨年の12月14日(土)、午後2時からサンテリ小ホールで開催されました。クリスマスと歳末の時期でしたが、満席に近い会場で眞理ヨシコさんの気品ある歌に感激致しました。一部「心に残る」日本の歌の最後に、青い山脈、故郷を離れる歌、昂の三曲を皆で歌いましたが、故郷を離れる歌は、きれいな二部合唱でした。

一部の「ある愛の詩」では、百万本のバラ、愛の讃歌等、絶唱して下さりました。アンコールの水色のワルツの前に駒場高校の二年生の女子二人がセーラー服姿で花東贈呈をました。

四時前に終了しましたので、まだ明るく、皆さんがお元気に帰途



「オーストラリア在住」
 オーストラリアは、夏の盛りです。久々の日本を想い返す時、ひとしお想われますのが、眞理ヨシコさんのコンサート。昨日の二日前でしたので出立前たりしていましたが、何とて本当によかった！

第一部「心に残る日本の歌」後半から、我にもあらず、目に滲むものに驚きました。眞理さんの美声に触発された私の涙は老眼鏡を曇らせ、楽しい合唱も、ハミングの参加となっていました。

思えば、胸躍らせた第三高女入学生も、直後の駒場校舎移転で、六本木なら徒歩通学範囲の私も地下鉄通学となり、でもそれが多くの友達と親しんだ最初ではなかったでしょう。

赤坂、青山、と私の活動範囲の街の大きな変貌。でもコンサート会場では、橋内先生を思い、駒場兵舎跡地の葺の所々から聞えた合唱が聴こえるような気がいたしました。

あの頃は三人、四人と集まると、すて美しいハーモニイが生まれてくる。そんな雰囲気を感じて、思いつく耳を傾けたものでした。

二オーストラリアでも、FMや、クラシックは、言葉の違いのり越えて、楽しませてくれました。

庭の千草、故郷を離れる歌等々、スコットランド民謡などよみ耳にして不思議な懐かしさを感じておりましたが、

松桜会コンサートが、私の日本滞中に、充足した締めくくりを与えてくれましたこと本当にうれしく、主催下さった皆様、心からお礼申しあげたく存じます。

駒23高橋佳和

過日は由緒正しい松桜会の格調高い且つ立派なコンサートを拝聴させて頂き有難うございました。

今日の出席のきっかけですが、11月に駒場卒25周年の同期会を開きました際に、幹事の発案でBGMに飯島さんの夜明けの歌というCDを使いまして。その時期から眞理さんのパンフレットを敬読渡されました。早速ある女性の方に紹介したところ、3人で聞きたいので手配を宜しく頼まれ、逆に私も誘われて行く事になったので。勿論私の行く事になった。O.Bの歌を聞くことが出来るのは夢のようでした。しかも笛吹き夢、うたのお姉さまはましまし聞きながら育った世代ですので、半ばびつくり仰天です。日本語を綺麗に発音されるのは真摯なお人柄とずいっと聞き惚れていました。曲

フルートの世界

97年度松桜会コンサート

今秋華やかにオープンする東京オペラシティで、11月29日(土)14時より宮本明彦氏によるフルートのコンサートが行われます。ご本人からの一言とプロフィールにあわせ、次ページには会場ををご紹介しますので、ふるってご参加下さいませようお待ちしております。

宮本明彦 駒7(14)



私は一九五二年に駒場高校音楽科に入学しました。その時の専攻はピアノでした。音楽科の三期生として、本当に楽しく、音楽で一杯という充実した高校生活をなつていく思い出します。音楽科の先生は、牧野先生、鈴木先生、橋内先生三人で、それぞれ違った分野から音楽の基礎を教えてくださいました。学校でオーケストラや合唱

が盛んだったことが、私にとってはこの上もなく幸福なことでした。オーケストラや合唱の指揮をさせてもらい、編曲を学び、声楽の日音楽祭の喜びを心から味わいました。二年生の秋に、フルートの友人が病気で休学をしたり、それまでオーケストラでギョギョとヴァイオリンを弾いていた私が、フルートをやらされたのが、やみつきとなり、三年生になった折、フルート専攻生となりました。幸いフルートの先生に恵まれ、学校の大学受験に関する指導も適切で、無事芸大に入学出来ました。その後コンクールの経験を経て一九五八年から六四年まで、ヨーロッパ留学を終え、一九六五年からNHK交響楽団のメンバーとして演奏し、今はフリーで演奏活動をしていきますが、駒場時代をいっつもつかましく思い出しています。

プロフィール

芸大在学中に日本音楽コンクール管楽部門第一位受賞。その後、ブラハ音楽院に学び、帰国後6年にNHK交響楽団に加入、86年まで首席フルーティストを務めた。N響時代より独奏、室内楽の分野でも活躍。現在、国立音楽大学及び大学院教授、山形大学講師。

▼新入会員より▲

仲間と作った生徒会

駒49-3 西堀俊介

駒場高校での三年間で、私は様々な事を学び、体験しました。その中でも最も思い出深いのは、生徒会活動です。

私は楽しくやろうをモットーに、活気ある生徒会を目指しました。幸いにも、私を心配してくれて多くの仲間が生徒会に集まってくれました。一人一人が自分の得意な分野を担当して、多くの事に取り組みました。

私は仲間たちと企画会議をするのがとても好きでした。激しい議論を交し、張りつめた雰囲気の中、時には声を荒げる事もありました。しかし終わってみると、すばらしい企画が生まれていくのです。お互いを理解し合っているからこそこんな激しい議論ができるのだと思ひ、いつも胸が熱くなります。

追悼

鈴木茂先生(社会科)

駒場18-5 宮森英治

駒場に約二十年在職され、その後予備校の講師をされておられました。前任の錦糸中在職期間を含め、四十人以上も政治、経済、倫理、社会の教育に携わってこられました。その鈴木先生が八月の末に肝臓癌(原発腫瘍)ガンに罹り、約三ヶ月闘病の後十二月四日に67才で亡くなりました。

昨年七月には、駒18卒後三十年の同期会があり、お会いできるの

仲間と作った生徒会... (前文の続き)

私の高校生活は硬式テニス部の思い出一色に染められました。一年の頃はとにかく筋トレ、声出し、球拾い。二年の頃はコート工事という悪条件下での練習、思えば辛いことだらけの毎日の生活に、一人もやめずに引退できたのは、私には残念な思い出があります。皆で作った嬉しい思い出です。しかし私には残念な思い出があります。二年生になって私はキャプテンになりました。と、同時に何をやらせても上手くいかない時期に突きました。

部活を通しての思い出
 駒49-1 横山晋

私の高校生活は硬式テニス部の思い出一色に染められました。一年の頃はとにかく筋トレ、声出し、球拾い。二年の頃はコート工事という悪条件下での練習、思えば辛いことだらけの毎日の生活に、一人もやめずに引退できたのは、私には残念な思い出があります。皆で作った嬉しい思い出です。しかし私には残念な思い出があります。二年生になって私はキャプテンになりました。と、同時に何をやらせても上手くいかない時期に突きました。

保体科での三年間
 駒49 保伊東美和

駒場高校保体科で過ごした三年間は、私にとっても大切な宝物です。沢山の事、頑張りを続けた三年間でした。三回の実習とはさむことなく、全て私たちの自主性に任せて下さった先生の寛大さに心服しました。御蔭様で一時受験勉強を忘れ学園祭を楽しむことができた。その後クラスが一つにまとまり、ほぼ全員が志望通り進学できたことが今でも鮮明に思い出されます。病床にあっても、最後まで受験問題を作成し続けた真摯な姿は、無言の教えとなって生き続けることと思います。

先生、御指導どうも有難うございました。

実技発表会、文化祭や体育祭。その中でも一番頑張ったのは部活活動です。

私の三年間を充実した生活にしたのは陸上競技です。練習や時間の大切さ、友達との素直な会話、陸上は教えてくれました。仲間と毎日遅くまで練習し、ヘトヘトになって帰る生活を「疲れた」と思いつつ、しつかり楽しんでました。

「アインターハイへ行くぞ」を合言葉にみんなで頑張る、三年生の夏、女子のハードル、リレー、投げでインターハイを決めました。私は槍投げで三位に入賞することができ、嬉し涙を流しました。その後、国民体育大会でも六位に入賞しました。一緒に頑張った仲間がいなければ、この様な結果は残せなかったと思います。

この三年間は、「生きてよかった!」と思う瞬間があちこちにありました。こんな生活が送れた私は世界一幸せ者です。

東京オペラシティ
 見たまま

新宿の近く、甲州街道と山手通りがクロスする所に出現した、54階の高層ビル、それが東京オペラシティです。一九九七年に新しくオープンするこのオペラシティのリサイタルホールで、今年の松桜会コンサートが開催されます。

京王新線初台駅の目の前、高いガラス屋根のガレリアを通りタワーの中へ入ると明るく、パブリックを基調とした落ち着いた雰囲気、ロビーが広がります。設備の行き届いたクラシック専用のホール、他、ショッピング専用スペースやカフェテリアもあります。

今注目、技術の粋を誇るホルートの調べ、大いに期待が寄せられるでしょう。開演は14時、アフターコンサートも楽しめます。

隣に建設中の新国立劇場の完成と共に新しい芸術文化の発信の地になる所です。(駒3石川清子)



資料提供 東京オペラシティビル株

恩師の消息

懐かしい先生方の御近況はと、アンケート形式でお願いたしましたの

- ①御担当の教科
②御担当
③駒場での御在職期間
④御近況
⑤御担当、一部省略等、御了承下さい。

佐藤浩子先生

①国語②74才③25年
④少々老化、少々元気
毎月一回の古典教室に駒場や第三の

山下敏一郎先生

①日本史、倫理、社会②54才
③8年④日比谷高校、日本史
⑤国語⑥2才⑦19年
⑧関東短期大学国文科教授(学科

根本裕夫先生

①理科・化学②66才③昭和34・4
④19年⑤3・3月まで
⑥平成3年3月駒場高校を定年退

小川碧生先生

①英語②64才③昭和35・9月〜平
5・3月
④定年退職後、国内外の旅行を楽

平岡清生先生

①保健体育②55才③昭和45〜平
3(21年間)
④都立稲城高校の校長をしており

田村泉先生

①英語②70才③昭和46・4月〜62・
3月
④今や女性がメインの趣味、多

職したあとは何も職についており
ません。体力が続くかはと思っ

①美術科②73才③20年2ヶ月
④8年前に喉頭癌を患いましたが

山口海一先生

①保健体育②45才③15年間
④都立青山高校
⑤都立立川高校

田中惇先生

①英語②70才③40・3月〜47・12
月(六年九ヶ月)
④ほとんど健康状態で、自適の

渡部武先生

①社会科(一般社会、時事問題、
世界史)②73才③15年(昭和24・11・
39・3)
④気の向くままに、主として旅

善方ゆき子先生

①英語②80才③46年10月〜78年3
月
④年齢相応に元気で過して居りま

早川雷一先生

①英語②54才③12年
④90年4月より都立国際高校に勤
めています。創立8年になり、97

片野崇先生

①化学②60才③9年間
④平成4年7月より、脳梗塞によ

朝倉俊子先生

①国語②68才③4年(昭和37・5月
〜41・3月)
④千葉大学を退職後、十文字女子

福村保生先生

①国語②68才③4年(昭和37・5月
〜41・3月)
④千葉大学を退職後、十文字女子

松本英一郎先生

①美術②64才③8年④洋画家
庄司宗雄先生
①美術②61才③27年
②工芸高校嘱託
③田辺繁雄先生
④元気で毎日を過ごしています。

豊田良雄先生

①理科・物理②63才③22年間
④都立調布南高校に嘱託員として

蒲、変り咲き朝顔)にいう次第
安井久先生
①国語②73才③62・10月〜72・3
月
④公職からはすべて退いて、家事

関根孝生先生

①美術②工芸②65才③13年7ヶ月
④社団法人日展評議員等に所属
し制作活動をしています。
荻刈隆永先生
①社会科(日本史、世界史、倫

小野塚克治先生

①社会科(日本史)②65才③52年4
月〜60年3月
④92年3月新宿高校で定年退職、
92年4月都都託員として八王子東

佐伯信義先生

①社会科(世界史、地理)②87才③
1991年より37年間
④酒泉にならないう、歩けなく
ならないよう、仕事、散歩、近く

岡部守弘先生

①世界史②69才③56〜85年(約29
年間)
④97年7月で「古希」となりま

山本茂之先生

①数学②61才③昭和43・4・1〜
57・3・31
④拓殖大学第一高校で1年理外

細谷奇生先生

①倫理・社会②54才③13年間(昭
49〜61)④都立武蔵高校教諭
木下次郎先生
①数学②61才③昭和54・4月〜63・
3月
④都立新宿高校嘱託、専ら教科教

庄司宗雄先生

①美術②64才③8年④洋画家
庄司宗雄先生
①美術②61才③27年
②工芸高校嘱託
③田辺繁雄先生
④元気で毎日を過ごしています。

豊田良雄先生

①理科・物理②63才③22年間
④都立調布南高校に嘱託員として

①音楽(芸術科、音楽科)②74才9
ヶ月③10年(多分)62〜72年
④元桐朋学園大学音楽学部教授、

佐治恒孝先生

①保健体育②50才③昭和54・4月
〜60・3月(6年間)
④都立野津田高校教頭
前藤三郎先生
①国語②74才③昭和22・10月〜38・
3月(16年6ヶ月)
④都立豊多摩高校非常勤講師を最

吉田弘安先生

①地学・理科②62才③64年4月〜
95年3月(21年間)
④現在都立飛鳥高校に嘱託として

長野東先生

①数学科②28年6月1日生③昭和
33・4・44・3(10年間)
④93年4月より東京理科大学理学

小松朝夫先生

①英語②65才③25年(昭和35〜60)
④玉川大学講師
⑤現在、高知大学教育学部教授
(専門分野、体育心理学)です。平

岩瀬重雄先生

①保健体育②75才③35年
④昨年春那須に転居し1年が過
ぎました。自然がいっぱいで丘

小島勇枝先生

①保健体育②70才③昭和32・6月〜39・
3月
④東海大学理学部教授(特任)
大和哲朗先生
①音楽②77才③昭和34〜47年
②駒場を辞して早くも25年、小生

石川博朗先生

①数学②64才③9年9ヶ月
②家庭科②74才③29年
④家庭科②74才③29年

児島節子先生

①地理②56才③S50・4月〜H
元・3月(14年間)
④都立大島高校校長(2年目)
清水哲郎先生
①国語②62才③27年
④東大和南高校嘱託、要なき身

清水哲郎先生

①国語②62才③27年
④東大和南高校嘱託、要なき身

会員名簿

刊行延期のお知らせ

今年度は名簿刊行の年になりませんが、郵便番号が7ケタになり、これまでの、一年延期し、'98年度(平成10年度)発行の予定です。御了承よろしくお願ひ申し上げます。

母校のニュース

今年三月で、定時制が56年の歴史を閉じることになりました。昭和16年4月、東京府立第三高女夜学校としてスタート、三千九十六人を送り出し、劇作家の平田オリサさんもその中の一人です。

駒場幼稚園より

園長 向山陽子

昨今、核家族化、少子化、女性の社会進出等、時代の流れの中で、幼稚園に求められる内容、機能が変化してきております。又、人格形成の基礎を培う乳幼児期の教育の重要性が一層重視されてきている今、私共、駒場幼稚園教職員一同は、責任の重さをひしひしと感じながら二十一世紀を生きる人間を育てるべく、子ども達との日々を重ねております。当園では、幼児の自発的な遊びを中心とした生活を通して、自然との触れあいなど直接的具体的な

松桜会事務局より
「松桜会活動のため会費納入にご協力を」

※年会費納入につきましては、1月末日到着分をもとに振替用紙を同封いたしました。行き違いがありましたらご容赦下さい。
※卒業後6年目から年会費(1,000円)を納めて頂くことになっております。'97年度分より納めていただくのは駒場44期生です。よろしくお願ひ致します。
※'97年度に傘寿を迎えられる方は、以降年会費は不要となります。第31回、高等科15回の方々が該当されます。永い間会費納入にご協力ありがとうございました。
※前号でもお知らせ致しました通り、口座番号と共に振替用紙が変わりました。住所・氏名欄が小さくなりましたが、必ず卒業回、卒業時の級(ホーム)をご記入下さい。
お名前の記入もれにお気を付けてください。
皆様の卒業回、級(ホーム)は会報送付時の宛名シール右下にあります。
D...第三 H...高等科 K...駒場 E...東級 M...中級
W...西級 S...南級 N...北級
の略です。たとえば、D26E-第三26回東級、H19W-高等科19回西級、K0801-駒場8回1ホームとなります。
卒業回、クラスなどご記入の際に略号でお書きくださって結構です。

同期会だより-37中-



体験を重視して五感を働かせる力、創り出す力、取り組む力、友達と関わる力等を育み、園児一人一人が良きと可能性を生かし、伸び伸びと園生活を送れるよう、環境を整え、小学校以降における学習の基礎となる学びへの心情意欲、態度を育てております。
平成九年度前期、駒場幼稚園では、次のような公開行事を予定しております。松桜会の皆様にも御来園いただきたく、ご案内申し上げます。
○五月十六日(金)創立四十二周年記念「お花のセーブル」
○六月二十日(金)「卒業」シンポジウム「育児日記からの子ども学」
時間その他詳細は直接駒場幼稚園にお問い合わせ下さい。
電話(三四六六)二九五九

お知らせあれこれ

○卒業五十年誌について
私共都立第三高女四十一回生は一九九五年に卒業五十年を迎えました。第二次世界大戦の始まる前年に入学し、敗戦の年に卒業した私達は、まさに激動の時を生きて来たわけです。そこで、その思い出や記録を本にしたいと、卒業五十年誌「麻布の丘より半世紀」を作りました。三月半ばに出版されます。B6判、約二六〇頁、写真十八頁、カラー一頁七十名程の方が執筆されています。四十一回生全員には、一部二千円+送料でおわけしますが、残りがありますので御希望の方は、左記へ、葉書に住所氏名部数をお書きの上お申し込み下さい。
〒171豊島区雑司谷5-50-18
大友まで (久保田雅子)

○コンサート3月30日(日)17時

田代美重子(駒12)氏
ペーローヴェン、ヴァイオリンとピアノのためのソナタ全十曲
於上野音楽堂
問合せ 電話 03-5394-5772

○合唱曲集を歌う会へどうぞ!

駒4有志が年に一、二回懐しい合唱曲集他を歌う集いを企画しました。*ドラ声の人も音痴の人も(故橋内先生のお言葉)楽しく歌いましょう。楽譜は用意致します。日時、6月28日(土)午後1~4時
場所、駒場幼稚園(駒場高校隣)
係、新井(名和田)03-5701-0159
鈴木(小世)03-3414-9723
*同窓生などなくても御参加下さい。

平成八年十月十一日私共は卒業五十五周年同期会を開催いたしました。当日のメインプログラムとして新築なった母校と仰光寮の見学と云う事で会場は駒場エミナーズに致しました。竹林先生、吉田操先生の御出席をいただき、七十余名の参加がございました。
竹林先生のホリリと胸に沁むようなご挨拶に一同クラスを挙げてぎやかに会が進みました。吉田先生の御自身のご体験を通しての奮闘が不活では無いと云うお話しに皆感動致しました。私共入学の昭和十一年には既に仰光寮が下賜されて居りまして、ご先輩の名譽を傷つけはならない、校名を汚すてはいけないの思が子供心にもつよ

(吉田幸)